

100億宣言



主力商品 完全自動曲げシステム

○本社所在地：千葉県千葉市緑区大野台
○事業概要：プレス機械・自動曲げシステムを中心とした板金加工機械の製造・販売、専用自動省力化ラインの構築
○常時使用する従業員：：60名
（2025年3月時点）
○現在の売上高：18億円
（2025年1月期）
○法人番号：1040001019571
○Web：https://yoshino-kikai.co.jp/

株式会社吉野機械製作所（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
吉野 友章

「省人化を超えた完全自動化へ」

吉野機械製作所は、板金加工の現場における人材不足・技能継承の課題を解決し、持続可能なものづくり社会の実現を目指します。革新的な完全自動曲げシステムや生成AI×IoTによる対話型メンテナンスAIの開発・導入を通じて、日本のものづくり企業の生産性と安全性を飛躍的に高め、グローバル市場に通用する技術革新を進め、社員一人ひとりが誇りをもち、地域社会と共に成長しながら「2035年売上高100億円企業」を実現して参ります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、2026年1月期（15億円見込み）を起点とし、約9年間で6.7倍の年平均成長率（CAGR）約23%を目指す。

売上高の推移



課題

- ・現在は大手顧客向けの「開発型専用設計ライン」が事業の主軸であるため、設計工数が膨大となり、受注対応に制約が発生し、中小企業を含む幅広い顧客に対応できる「汎用機」の拡充・拡販が十分に進められていない。
- ・現状は建材・住宅設備メーカー・ハウスメーカー・電機メーカーへの依存が大きく、自動車・農機・物流など新分野への進出余地がある対応出来ず。
- ・海外販売網・メンテナンス体制の現地化（ASEAN・北米）
- ・技術人材の確保と育成（ロボットSIer、設計技術者）
- ・新工場の安定稼働による供給力最大化と品質維持
- ・ソフト+ハードの収益モデル確立（保守AI、サブスクリプション）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・第3工場稼働（2025年5月）による生産能力拡大
- ・中小企業を含む幅広い顧客層に対応できる「汎用機ラインナップ」を強化し、導入のしやすさ・短納期対応を実現し、専用設計+汎用機ラインナップの二本柱により、大手から中小まで幅広い顧客層を開拓
- ・FABTECH2025（シカゴ）、METALEX2025（バンコク）など海外展示会での認知度向上、アジア圏における現地連携、ASEAN地域の販売代理店網構築、北米市場のパートナー協業
- ・AI×IoTを活用したメンテナンス支援システムの商品化（サブスク契約モデルで安定収益化）

実施体制

- ・海外展開に備え、「グローバル&テクノロジー本部」を設置し、海外マーケティング部門とロボティクス事業部を統合運営
- ・海外展開と技術開発を一体化させ、現地顧客への即応体制と新製品開発のスピードを両立
- ・産学連携による次世代技術研究開発
- ・人材採用・育成：ロボットSIer、海外営業に加え、電気制御エンジニア、AIエンジニアを強化し、教育研修制度を充実

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです